

新成長戦略 実現アクション 100

—市場機能を最大限活かした新たな官民連携の構築—

【平成23年度経済産業政策の重点】

平成22年8月

経済産業省

- (☆) インフラ/システム輸出促進調査等委託費 21.5億円 (新規)
- ERIAを通じて東アジア各地でインフラ開発計画に係る調査やモデルプロジェクト形成を実施 [内数] 10.0億円 (10.0億円)
- APEC地域における低炭素モデル都市形成に向けた調査【再掲】
- ◇ NEDOの新技术・システムの国際展開支援機能の強化【再掲】
- △ JETROの海外ネットワーク機能の抜本的強化【再掲】
- △ 日アラブ経済フォーラムや日メコン産業政策対話等を通じ、各国政府・企業と計画段階から協力

3. 医療・介護・健康関連産業 (ライフ・イノベーション)

世界一の健康長寿国として、世界のフロンティアを進む日本の高齢化をチャンスと捉え、ライフ・イノベーションを力強く推進することで、新たなサービス成長産業とものづくり産業を育てていく。高い成長と雇用創出が見込める医療・介護・健康関連産業を日本の成長牽引産業として明確に位置付けるとともに、民間事業者等の新たなサービス主体の参入も促進し、安全の確保や質の向上を図りながら、利用者本位の多様なサービスが提供できる体制を構築する。

平成24年度に、診療報酬・介護報酬の同時改定、新たな医療計画の策定が行われることを視野に入れつつ、経済産業省としても、平成23年度においては、関連するルールの見直し等に資するプロジェクトを集中的に実施する。

(1) 医療・介護等関連サービス分野におけるルールの見直し・産業創出 **action 54**

本年から平成23年度にかけて医行為グレーゾーンの整理・明確化等を行うことにより、民間事業者の創意工夫・産業的手法を最大限活用しながら、個人のニーズに応じた、多種多様で、生活に根差した良質なサービスが公的医療・介護サービスと連携した形で提供される社会的枠組みを提示する。

- △ 医療・介護周辺サービスの振興に必要なルールの見直しと医療生活産業の創出に向けた環境整備について検討
- ◎ ライフ・イノベーションに係る省内推進体制を整備

(2) 医療の情報化 **action 55**

質の高い医療・介護・健康サービスの提供を推進するため、健康・医療情報を電子的に収集・管理・活用するための標準化・取り扱いルールの策定、電子化を行い、医療・介護・健康分野におけるIT活用を促す。

これにより、全国どこでも自らの医療・健康情報を電子的に管理・活用することを可能にする「どこでもMY病院」構想、対象疾病に係る医療機関間でのシームレスなデータ共有を可能にする地域医療連携等の実現を図る。

- (☆) 「どこでもMY病院」構想の具体化推進等 (医療情報化促進事業) 15.0億円 (新規)
- レセプト情報二次利用のための匿名化に係る基盤整備の推進 [内数] 17.3億円 ([内数] 16.6億円)

(3) 医療の国際化 **action 56**

政府としては、国際医療交流について、本年度中に規制緩和に係る検討等を進め、平成23年度に規制緩和の実施、推進体制・認証制度の整備等を行った上で、平成24年度から外国人患者を本格受入れすることを目指している。

こうした制度的取組を通じて、外国人が日本の高度な医療を受けやすくする環境を整え、医療技術の進歩に不可欠な資本や技術の蓄積を行う。併せて、日本の医療サービスを国際展開していくための課題抽出等を行い、日本の医療発展の基盤強化を図る。

○ (☆) 医療サービス国際化推進事業 10.0億円 (新規)

(4) 再生医療技術・バイオベンチャー創出支援 **action 57**

産官学が一体となった取組や、創薬ベンチャーの育成を推進し、新薬、再生医療等の先端医療技術に係る研究開発・実用化を促進する。

○ (☆) 幹細胞実用化に向けた評価基盤技術開発プロジェクト 13.4億円 (新規)

△ 創薬ベンチャーを始めとしたバイオベンチャーに係る経営戦略・知財戦略等に精通した人材の育成等を推進

(5) 革新的医療機器・生活支援ロボットの開発等の促進

我が国の優れたものづくり技術を活用し、革新的な医療機器、課題解決型の医療機器、介護現場等で実用化が強く期待されている介護・移動支援等の生活支援ロボット等の開発・実用化を推進する。

① 革新的医療機器開発等の推進 **action 58**

医工連携による革新的な医療機器や中小ものづくり技術を活用した課題解決型の医療機器等の研究開発を促進するとともに、円滑な実用化に向けた制度整備等を推進する。また、アジア諸国の医療機関と連携した共同研究・実証を通じて、国際市場獲得を目指す。

○ (☆) がん超早期診断・治療機器総合研究開発プロジェクト 20.8億円 (12.2億円)

○ (☆) 課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援 30.0億円 (新規)

○ (☆) 環境・医療分野の国際研究開発・実証プロジェクト【再掲】

○ 医療機器等の開発・実用化促進のためのガイドライン策定事業 0.7億円 (新規)

② 生活支援ロボットの要素技術の開発と安全性の確立 **action 59**

生活支援ロボットの「対人安全技術」を開発し、安全に関するデータを収集・分析しながら「安全基準案」を策定するとともに、「安全性検証手法」を確立する。また、海外市場獲得に向けた「国際標準化」を目指す。

○ (☆) 生活支援ロボット実用化プロジェクト 18.9億円 (15.3億円)